

令和8年度 第3回旭地域会議 会議録

■日 時 令和8年6月4日(木) 午後7時00分～午後8時45分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

<委員13名>

伊藤和夫(会長)、鈴木雄也(副会長)、青木富美雄、安藤孝之、伊藤圭一、紀平純子、熊本ゆう子、鈴木好美、成瀬一、成瀬初恵、西田又紀二、森下正人、渡邊渚

<事務局>

杉本憲彦(支所長)、児嶋勇吾(副支所長)、梅村祐子(担当長)、山岡千裕(主査)、平井一輝(主事)

<傍聴人4名>

■欠席者 後藤美咲

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員研修

(1) 旭の移住・定住施策について

4 支所長あいさつ

5 閉会

【内容】(要約)

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員研修

(1) 旭の移住・定住施策について

事務局からの説明後、委員同士で意見交換を実施した。

<主な意見>

【住まいの受け入れ体制について】

- ・お試し住宅があるとよい。
- ・売買はハードルが高いため、賃貸住宅からスタートできるとよい。
- ・田舎暮らしを体験できる施設があるところもある。
- ・他の市の事例なども参考にしながら、可能なら視察にも行ってみたい。
- ・他市の事例も参考にしながら、市が空き家などを借り上げてリフォームして貸し出すような施策も必要ではないか。
- ・家を新築できる土地がどこにあるか分かるような見える化ができるとよい。

他市では区画整理で新築を増やした事例もあった。

- ・入居したいと思った方がいた時、すぐに入居できる家がない。
- ・空き家情報バンクの登録についてスピード感があるとよい。
⇒所有者の権利が一人でない場合や、登録にかかる手続きがすぐに進まない場合がある。また、単なる手続きの問題だけではない部分もある。

【ターゲット層について】

- ・どのような方に来てほしいのか、ターゲット層はどこなのか。
- ・高齢化についてマイナスなイメージがあるが、高齢化してはいけないのか。
⇒若い世代でないといけない、とはしていない。地域の思いや実情として必要なこと、地域としてどういう人に来てほしいのかを含めた全体的なバランスが大事。地域の一員として来てくれる方が必要。
- ・生業ができるような地域にしていきたいと思っているので、実際どんな方が来ているのか知りたい。
⇒比較的に職を持った方が多いとは思いますが、こういう傾向にあるというまでは言えない。

【情報発信について】

- ・空き家情報バンクの物件を見学に来た方が、なぜ来たのか。アクセスするきっかけを調べるとよい。
- ・豊田市全体の移住の情報が分かるものがあるとよい。
- ・空き家情報バンクの登録手続きについて、片付けや手続き手順の詳細が分かるとよい。
片付けが済んでからでないと登録できないと誤解している人もいる。
⇒順を追って説明できるように相談窓口を設けた。まずは支所に相談してもらえると、そこから色々と一緒に進めることができる。全てを一人でやろうとしなくてもよい。

【その他】

- ・空き家情報バンク以外で入居してきた方との交流が難しい。どうしたら地域のルールを理解してもらえるか。空き家バンクではない移住者と地域でトラブルがあったと聞いた。地域面談は重要だと思う。
- ・人口減少は全国の問題であり、人口の取り合いになってしまっているという側面もある。単なる人口減少という視点だけではなく、最終的にどこを目指しているかを考えたい。もう少し掘り下げて、一人一人のビジョンを聞いてみたい。
- ・行事や役の負担が多くて大変との声がある一方、子ども連れの場合、行事がなくてつまらないといった声もある。正反対の意見が混在する中、どこに落ち着けるのか。
- ・「地域で安心して暮らし続けられる」をPRするとよい。
- ・商工会や観光協会を巻き込んで移住の応援をできるとよい。

4 支所長あいさつ

5 閉会

— 午後8時45分 令和8年度第3回旭地域会議終了 —

以上